

白馬セミナー 2017

基調講演・分科会 抄録 (分科会順・敬称略)

【基調講演 1】

- 「なぜ、困難なことに
立ち向かう子どもたちを育てるのか？」
Why Raise Kids To Do Hard Things?
グレッグ・ハリス

私たちが、困難なことに立ち向かうように子どもたちを育てるべき多くの理由を検証していきます。

In this first Keynote address we will explore the many reasons why we should raise our children to do hard things.

【基調講演 2】

- 「キリストの弟子としての子どもの教育」
—みことばに照らしてともに考えましょう
テモテ・ブローマン

「見よ、こどもたちは神から賜った嗣業であり、胎の実は報いの賜物である。」詩編 127:3

「子をその行くべき道に従って教えよ、そうすれば年老いても、それを離れることがない。」箴言 22:6

「それゆえに、あなたがたは行って、すべての国民を弟子として... あなたがたに命じておいたいっさいの事を守るように教えよ。見よ、わたしは世の終りまで、いつもあなたがたと共にいるのである。」マタイ 28:19-20

【基調講演 3】

- 「良い木 Vs 悪い木」
The Good Tree Vs The Bad Tree
グレッグ・ハリス

福音の中に人生を変える信仰がない、本物とは言えない単なる名ばかりのクリスチャンでいる危険性について考えます。

In this Keynote we will examine the dangers of being merely a nominal believer in Christ who has no authentic, life-changing faith in the gospel.

【基調講演 4】

- 「新・出エジプト大作戦—キリストにある自由&未来からのスタート」

稲葉 寛夫

クリスチャンの教育の自由を求め、第二のメイフラワー号とも称される「ホームスクーリングムーブメント」。日本でも18年の歳月を経て、今、大きな実を結びつつあります。国会での多様な教育をめぐる法制化の条文作成にも、神様はクリスチャンホームスクーラーを用いられました。子どもたち・親たちによる社会への福音のインパクトも、徐々に与え始めています。近未来において、日本や世界のリバイバルは起こり、そのために用いられていくことは確実と思われます。しかし、伝道的な実が生まれるということは、外からと内からの攻撃が、当然、生じます。輝く未来、そして忍び寄る愛の冷えた迫害の時代、その中でキリストにある教育と伝道の自由を勝ち取り続け、キリストの恵みと憐みの中ではばたくため、今、各家庭においてなすべきことは何でしょうか。今、神様に示されていることを分かち合います。

【ワークショップ】

- 「子どもを祝福するとは」
ChildD Blessing Opportunities for CHEA Parents

ジョイス&リチャード・イノウエ

夫妻の実演からも学びます。90分のセッション中、10分ずつ6セッション、祝福の祈りの時間を持ちます。そこで、祝福の祈りを受けたい方々を募集します。祝福の祈りは聖書的であり、他の方々を励ますものです。夫婦でご参加の方は、ぜひご夫妻で祝福を受けるようお勧めします。申込書は、チアの事務局そばにおきます。これは初めての試みです。参加される方は、祝福の祈りをどうぞ録音してください。アメリカではよく祝福の祈りを録音します。祈りがその時だけでなく、後で聞いて励ましとなるためです。祝福の祈りはイエスキリストにある希望を思い起こさせます。夫妻が分科会の最後に、祝福の祈りの祈り方などをお伝えします。

The ChildD Team will take sign-ups to bless

those in six slots for a ten-minute time for one hour and a half. Please know that Blessings are Biblical and an encouragement to one another. Due to limited availability, we are asking for fathers and mothers to sign up to be blessed together. The sign-up sheet will be near the register in the bookstore. It will be first come, first served. For those who sign up, we welcome you to digitally record your blessings by recorder or using the voice memo on their iphones. We often record our blessings in America, as blessings can encourage you, not only at the time, but whenever you listen to it. Blessings remind us of the hope we always have in Jesus Christ, and who He is to us, and who we are to Him. Joyce and Richard Inouye will also be providing examples of the blessing at the end of their workshop.

【OB/OG&YOUTH セッション】

■高嶺を目指して「インテグリティ・誠実さと強固な倫理観を養うために」

Personal INTEGRITY In Making the Most of Your Time

グレッグ・ハリス

あなたの本質の集積回路 (IC) を発見しよう。そして、目的、ゴール、プラン、行動を通して、あなたの心、たましい、思い、力のつながりをどのように強化していくかを学ぼう。

1) 時間の本質 2) 良い習慣の力 3) 優先順位の問題 4) 一日に焦点を当てて一週間のバランスをとること 5) 適切な時 vs 均等な時間配分 6) 自己の整合性: 目的、ゴール、プラン、行動 7) 書き留めよ!

Discover the integrated circuitry of your nature and how you can strengthen the connections between your heart, soul, mind and strength through purpose, goals, plans and actions.

1.The nature of Time 2.The Power of a Good Routine 3.The Problem With Priorities 4.Balance the Week by Focusing the Days 5.Appropriate Time vs Equal Time 6. Personal Integrity: Purpose, Goals, Plans & Actions 7.Write It Down!

■「神を恐れよ。神の命令を守れ。これが人間にとってすべてである。」伝道者 12:13

テモテ・ブローマン

若い時から主に従うことを選ぶ重要性について、みことばを引用しながらポイントを押さえるように努めます。

■「天文学を通して神様を求める」

衣笠 健三

科学と聖書は矛盾していると思いませんか? 科学、特に、天文学は本来神様が人間に与えてくださった学問です。ここでは天文学の簡単な歴史から最新の話まで、聖書の視点からお話します。

■「土を耕す (召命とのろい)」

志賀 信泰

創世記 2 章を見ると、アダムは主からエデンの園の管理を任せられ、土を耕すことも仕事の一つとして与えられます。しかし 3 章ではエデンの園を追放され、苦しんで食を得るためにのろわれた土を耕すようになりました。

僕は今、国立研究開発法人 (NICT) で「時」の研究をしています。召命としての仕事と、のろいとしての仕事は、常に紙一重のところにあると感じています。召命としての仕事を続けるために祈りながらプロアクティブに、創造性を発揮しようとしてもがいている現実をお分かちできれば、と思います。

■「弟子訓練プランシート」

～将来のビジョンに向かって～

森山 剛

何のために、何を目的に、ホームスクールをしているかを確認していくことはとても大切なことです。「弟子訓練シート」が、子どもたちがビジョンをしっかりと掴むことへの助けになればと思います。* 可能であれば親御さんの同席が望ましいです。

【分科会 1】

1-1 ■「あなたが子どもたちを
楽しむようになるまで訓練する」

Train Them Until You Like Them

グレッグ・ハリス

自分の子どもたちを（愛するだけでなく）楽しむこと、また、毎日の生活の中で一緒にいて楽しい人になるように訓練することの重要性について見ていきたいと思います。

In this session we will look at the importance of liking our children (in addition to loving them) and training our children to be someone we enjoy have with us in our daily lives.

1-2 ■ 「時間やエネルギーが無い時でも、子どもたちを祝福し続けるために」

How to begin or keep the momentum of blessing your children when there is no time and energies

ジョイス・イノウエ

この分科会では、子どもの障害の有無にかかわらず、どのように子どもを祝福したらいいのかお話しします。ジョイス女史とリチャード氏は神に尋ね求めながら、時間やスケジュールをやり繰りし、混乱や疲れを克服して、3人の子どもたちを誕生以来（長男ギャレットさんは2歳から）18歳になるまで毎日祝福してきました。2014年のチア・コンベンションでは、長女のクリスティンさんが、毎晩どのように両親から祝福を受けてきたかを証しました。現在、長男ギャレットさん&シャノンさん夫妻は、生まれたばかりの娘、ワンダー・レイちゃんに祝福の祈りを始めています。戦場のような毎日の中で、どうしたら祈る気力を保ち続けることができるのでしょうか。ぜひこの分科会で、神が不可能を可能にしてくださった証をお聞きください。

This workshop will give testimony on how to begin blessing your children with or without special needs. Hear how Joyce and Richard with God, overcame the trials of time, schedules, upset, and weariness at the end of the day. They will share how they sought the Holy Spirit so that all three children were blessed all the days of their life from birth to the age of 18 years (Garrett started from 2 years). Joyce's daughter, Christin spoke at CHEA in 2014 how she and her brothers will bless their children nightly as well, and Garrett and Shannon have begun the discipline of blessing their newborn daughter Wonder Rei, since birth! How can anyone keep the momentum amongst the warfare? Come and see how God led, and the

impossible became very possible.

1-3 ■ 「親と子どもの心の絆」
マタイ・ブローマン

普段の生活で、仕事のために家族と過ごす時間が少ない中、私自身が感じていることを踏まえ、子どもとの絆をどうやって築いていくかについて話を進めたいと思います。

1-4 ■ 「お父さん集まれ！（全国版）」
志賀 信泰

今年のコンベンション東京で初めてお父さんのネットワーキングを目的とした分科会をもつことができました。その後お父さん同士の情報交換や平日のミーティングへと発展してきています。今年の白馬では全国のお父さん方と交わりの時を持ち、ホームスクーリングパパ特有の悩みを中心に分かち合う時を持ちます。お互いの悩みに対して解決策を示しあうのではなく、まず共感する時を大事にします。この時を通して、今後深い話ができるお父さん同士のネットワークが全国的に育つことを願っています。

1-5 ■ 「私の思いは、あなたがたの思いと異なり」
～ホームスクール 11年目～
川嶋 康裕&しのぶ

読み書きを楽しんで覚えていく子どもの成長を見たい！将来、家族で病院船に乗って海外宣教に遣わされた時のために！と始めたホームスクールですが、私たちの思いとは異なり、紆余曲折を経て11年目を迎えています。途中3回の引越し、夫の単身短期医療宣教、妻である私の乳がん闘病と治療、次女のアフリカお供の旅、長男の進路、すべて神さまの哀れみによって歩んできました。子どもたちもそれぞれの段階で神さまから取り扱われ成長してきました。でも、一番成長させられたのは親の私たちかも。多くの恵みを分かち合い、証できたらと思います。

1-6 ■ 「誘惑から解放されるために
～父が息子と共に学べること～」
棚田 伊作&加代子

二人の子どもをホームスクーリングをして9年目、小学2年生から学び始めた長男は16歳になりました。私たちが10代の頃を思い返せば、性的な誘惑に非常に関心を持ち、神様の前で罪を犯し続ける弱い者でした。そんな私たちの息子にも、サタンはインターネットやスマホを使って巧みに

攻撃を仕掛けています。弱い男の代表である父親が、息子のためにどう備えたら良いでしょうか。誘惑に対してどのようにして向き合えばよいのか、我が家の体験談をシェアしつつ、実践していることを紹介したいと思います。

【分科会 2】

2-1 ■ 「子どもたちを巻き込む価値のある冒険に満ちた人生を送る」

Live An Adventure Worth Including Them In
グレッグ・ハリス

困難なことに立ち向かっている良い模範となることの重要性を考えます。

In this session we will examine the importance of being a good example of doing hard things.

2-2 ■ 「学習障害や ADHD、自閉症に関連する感覚処理障害、前庭疾患、固有感覚障害、運動障害とは？」

How are Sensory Process Disorders, Vestibular, Proprioception and Motor Disorders related to Learning Disabilities, ADHD and Autism

ジョイス・イノウエ

ADHD、前庭疾患、固有感覚障害、自閉症、学習障害（ディスレクシア、計算力障害、微細運動技能）に関する 2017 年 8 月の最新研究についてお伝えしながら、これらの知識がホームスクーリングの学習面にどのような影響を与えるか、お話しします。

Be informed on the latest research as of August 2017 in areas of ADHD, Vestibular, Proprioception, Sensory Process Disorders, Autism, and Learning Disabilities (Dyslexia, Dyscalculia, fine motor skills) and how this knowledge will affect your homeschooling lessons.

2-3 ■ 「どんな職場でも神の国の視点を保ち続けるために」

Keeping God's Kingdom Perspective at your christian or non-christian work place

リチャード・イノウエ

この分科会では、どうすれば、職場において神

の国の視点を保ち続けられるのか、その方法についてお話しします。神の国の視点で物事を見るなら、職場で困難に直面した時にも精神的に支えられ、神に目を向け続けることができます。神さまは目的をもって、皆さんを今の職場に置かれました。確かに仕事で厳しい状況に陥った時は、神の存在を意識し、神に栄光を帰すことが難しい場合もありますが、神さまにはご計画があるのです。神さまは、皆さんが神の愛と理解力をもって職場に影響力をもたらし、最終的にご自身の栄光をあらわすことを望んでおられます。これこそ、私たちの信仰を仕事と結びつける方法なのです。

2-4 ■ 「チャーチ&ホームスクーリング

ー必ず聞かれる 20 の質問」
稲葉 寛夫

「チャーチ&ホームスクーリングって何？」そんな質問への答えから始めて、全体像をつかめるセッション。スタート済みの皆さんには、知人・友人へのプレゼンテーションへの参考に。「社会性は？」「微分、積分ができなくても教えられる？」「聖書が教える教育法は？」「しつけは？」「大学進学、就職は？」「ホームスクーリング・マインドのチャーチスクールって？」「週 2 時間からできる C & H って？」。この 17 年の全国各地でのセミナーで多かった Q & A をベースに 8 時間コースを 50 分に短縮した、一度は必修のコース！

2-5 ■ 「山川哲平ファミリーのチャーチ&ホームスクール」(12 年目) ~初代教会から学ぶホームスクール~

山川 哲平&真紀子

ハレルヤ！現在、ハレルヤチャーチ高松では、5 家族合計 33 人（11 + 7 + 6 + 6 + 3）がチャーチ&ホームスクール中。また、それ以外にも、ご主人が未信者の家族もホームスクールマインドで教育をしています。現在、親と一緒に来ている子どもたちの信仰継承率は 100% です。また、名古屋の弟ファミリー（9 人家族）、妹ファミリー（7 人家族）もホームスクール中。義理の妹家族（8 人家族）も含めると一族でホームスクーラーです。12 年前にチアにつぼんに出会ってから、あっという間に時間が過ぎました。まだまだ試行錯誤しながらですが、教会もホームスクールも「祈り、御言葉、礼拝」が中心になってきました。様々なホームスクールの形があつて良いと思いますが、私たち家族の証しや、どのようにホームスクールをしているか、特に今年は「初代教会（ユダヤ人文化）から学ぶ家庭学習」を紹介し、御言葉の朗読、御言葉の暗唱、家庭礼拝、日に 3 度の祈りの時間

などです。シャローム！★ニュースとしては、来年4月には10人目が誕生予定。とうとう12人家族へ。

2-6 ■ 「良い関係」

清野 基&百合子

・子どもを愛しづらい。・受け入れがたい子どもの言動と行動がある。・従順を教えているつもりが、支配していた。・子どもが親の顔色を窺っている。・どうしても怒りを抑えられない。・子どもに信頼されていない気がする。・子どもの言葉に傷ついてしまう。などなど…。ホームスクールなのにこれでは…ではなく、ホームスクールだからこそ、罪と弱さが取り扱われるチャンスが多いと、前向きにとらえて、良い家族関係を築くために必要な事を共に学びましょう。

2-7 ■ 「十字架を目指して、低きに登る」

鍵谷 陽子

昨夏、長男（当時17歳）が法の学びへと導かれ、今春、大学に入学。それまで続けてきたホームスクールでは、聖書と、それを伝える力があればいいと、一般的な教科の学びは、ほとんど無し。思いがけない展開に、本当にそれでいいのか？と、祈り続けました。突然の猛勉強に、弱さのある長女（当時5歳）の体力作りにと、鬼コーチと化す母。そんな中、重い愛着障害を抱えた里子くん（当時2歳）を迎え、一家は、土台から揺さぶられ、世話好きの長女も、特性の注意欠陥が噴出。「自分を捨て、自分の十字架を負ってついてきなさい。」の御言葉が響きます。試練が思いもよらなかったのは、盲目だったから。神様との隔たりの大きさは、恵みの大きさでもありました。長男も証します。

【分科会3】

3-1 ■ 「子どもたちの退屈を

楽しいことに活用する」

Harness Their Boredom With Delight
グレッグ・ハリス

よくある退屈や孤独を用いて、子どもたちに困難なことに立ち向かわせる戦略を作り上げていきます。

In this session we will develop a strategy for using normal boredom and loneliness to motivate our children to do hard things.

3-2 ■ 「障害のある子どもたちと信仰的な会話、弟子訓練はできるか」

Are spiritual conversations and discipleships possible with our children with special needs?
ジョイス・イノウエ

親も子も様々なチャレンジに直面しますが、神の国の視点から見ることによって、そのすべてに答えを見つけることができます。神は「若者をその行く道にふさわしく教育せよ…」(箴言22:6)とおっしゃいました。この分科会では、「障害のある子どもとは信仰的な会話や弟子訓練ができない」という不信仰な考え方を払しょくしていきます。学習障害を抱え、じっと座ってられず、集中力が途切れやすい、あるいは興味が無いように見える子どもたちに、ホームスクーリングをする中でどのように神について語っていくのかお話しします。

God's Kingdom perspectives are every answer to every challenge to both parents and their children, and vice-a-versa. God says, "Train your children up in the way they should go..." (Proverbs 22:6). Come to this workshop to dispel ungodly belief that spiritual conversations and discipleship is impossible. Joyce will be talking about how to speak about God in and through the gift of homeschooling and time with your children who cannot sit still, are distracted and have learning challenges or who do not seem interested.

3-3 ■ 「自分の目標を捨て、願いを神にゆだねる」

Letting Go of My Goals and

Giving My Will to God

ジャネット・マクタガート

幼稚園から高校卒業まで4人の子どもをホームスクールで育てた母が語ります。私たちが日々自分の十字架を負って神に従う時、素晴らしく思えるような自分のアイデアを捨て、神による平安と喜びを体験する道を発見するでしょう。(今では11人の孫がいます！)

(事務局注：1970年代後半というホームスクーリングムーブメントの草分け時代に立ち上がったホームスクーラー、チア・カリフォルニア理事、その後の家庭の苦難等を経て、神様から教えられた学びが分かち合われる予定です)

In this workshop we will hear from a

mother who home-schooled four children from Kindergarten through High-school graduation. She will explore ways that we can let go of our own ideas of excellence so that we may experience God's peace and joy as we pick up our cross daily and follow Him. (She now has eleven grandchildren too!)

3-4 ■ 「神を愛するということ」

On "Loving God"

ピーター・ブロックソム

クリスチャン家庭で、子どもたちは「神は愛である」ことを聞きながら育ちます。しかし、私たちは親として、子どもたちに「神を愛する」ことを教えることが、どれほどできているのでしょうか。クリスチャン教育において神への恐れや服従がしばしば強調される中、私たちが育てているのは、従順なパリサイ人なのか、真に十字架を愛するものか、どのように判断することができるのでしょうか。ホームスクール、またキリスト教学校で育った息子からの一本の電話が、私たちが子どもたちに教えていること、またそれが世代間でどのように伝わっていくのかについての新しい知見をもたらしてくれました。当分科会が、確かに存在する問題への解決策を提示するには至らないまでも、その原因を突き止め、私たちが子どもたちにとっての、「神を愛する人」の手本となる一助になることを願っています。

As Christian parents, we teach our children that "God is love." However, how often do we teach and help them to "love God"? When challenged by the legalism of fear and obedience, which is a common pitfall in Christian child-rearing, how can we decipher whether we are raising well-behaved Pharisees or lovers of the Cross?

A phone call from my home- and church-schooled son provided me with a new perspective on what we teach to our children and how it is communicated through the generations. The goal of the lecture is not to reach solutions but to identify the root of existing problems, so that we can grow to model lovers of God for our children.

3-5 ■ 「えっ！いつまでやったらいいの？」

ホームスクーリング！」

森山 剛&有佳子

そう言えば…ホームスクーリングのゴールっ

て？いつまでやったらいいの？ 高校卒業認定合格まで？大学に入ったから終わりなの？そのようなことを考えたことはないでしょうか。既に始めておられる方、これから始めようかとお考えの方々、神様に与えられたお子さんを主の教育で育てていく上で、目標やゴールをセットしていくことはとても重要だと思います。長女が18歳になり、今後の進路を決定していく段階になったこと。同世代の知り合いのホームスクールのお子さんが既に大学に行かれたり、また、これから大学や専門学校に入られることを耳にしていく中で、長男13歳と次女8歳のHSを改めて見つめ直す機会となっています。これまでの経験と、大学生宣教団体スタッフとして、学生同士や大学生活から受ける影響と対策を踏まえ、私たちが考えているホームスクーリングのゴールを分かち合わせていただきたいと思います。

3-6 ■ 「次世代に伝えるべき命と性」

伊藤 こずえ

神様は私たちに命を与え、「生めよ。ふえよ。地を満たせ。創世記1:28」と創造の初めから祝福してくださっています。大人の私たちは、神様の愛と祝福を受け取っている者として、家庭で、教会で、地域で、この命と性の大切さを次世代にきちんと伝えることができているのでしょうか。世の中に氾濫している歪んだ性情報によって、私たちの性に対する意識も知らず知らずの内に歪ませられ、どのように伝えていったらよいのか困惑しているのではないのでしょうか。聖書に基づく命の教育、若者たちを取り巻く現状、具体的にどのようにアプローチしていったらいいのか等、助産師としての臨床の現場からも一緒に考えていけたらと思っています。年齢差のある高校生、中学生、小学生三人との日常も少し分かち合えたらと思います。

3-7 ■ 「ホームスクールにも

全ての進路が開かれています」

中村 昌代

恵み豊かな楽しいホームスクールができることを主に感謝する中で、やがて子どもたちは成長し、現実的に進路を考える時がやってきます。姉2人の歩みを通して、ホームスクールにも全ての進路が可能であることが実体験を通してわかりました。息子は高校生の年齢の今も家庭を中心に学んで進学準備をしています。学校が提供できるものではないもの、AO入試や推薦がないと不利かどうか、HSの進学準備の中で大切なことについてお話しいたします。

【分科会 4】

**4-1 ■ 「子どもたちの分野において
ソロモンを見つけ出す」
Seek Out The Solomon in Their Field
グレッグ・ハリス**

10代の子どもたちを困難に立ち向かおうと動機付けさせる、自分と同様に困難に立ち向かうヒーローを見つける方法を考えます。その人物との実際の関係を構築する重要性を確認します。

In this session we will identify the importance of getting our young adult children into actual relationships with the living heroes who are doing the same kinds of hard things that they aspire to do in their lives.

4-2 ■ 「不安障害と、ADHDや自閉症、学習障害との関連性を認識し、ホームスクーリングを通して癒しをもたらす方法」

Anxiety disorders and the connection with ADHD, Autism and Learning Disabilities. How to recognize them and bring healing through your homeschooling.

ジョイス・イノウエ

「アメリカ不安・うつ協会」が2017年5月に発表したところによると、ADHDの成人患者のうち約50%が不安障害を抱えています。アメリカのADHDナショナル・リソース・センターの推定では、ADHDの子どものうち30%が不安を覚える経験をしています。この分科会では、共存症（同時に2つ以上の疾患を有している状態）に関する情報をお伝えしながら、その症状の見分け方や、不安症状を癒すホームスクーリングの方法、逆に不安を高めてしまうホームスクーリングの進め方についてもお話しします。

According to the Anxiety and Depression Association of America as of May 2017, approximately 50 percent of American adults with ADHD also have an anxiety disorder. The National Resource Centre on ADHD estimate that up to 30 percent of children with the condition experience anxiety. This workshop will inform you of the co-existing symptoms, how to recognize them, and how anxiety can be healed or heightened by how you

homeschool your children.

**4-3 ■ 「第二言語として英語を習得するために」
テモテ・ブローマン**

ホームスクーラーの親として英語を教える自信がない。英語習得に必要な英語環境をどうつくる？学習している子どもが本当に理解できているのか？疑問？複数の兄弟がいてレベルが違う学習をどう効率的に…？等々。実際に英語を子どもに習わせているご家族、これから始めようとしている方のためにQ&Aの時間も設けます。

**4-4 ■ 「岩の上に家を建てる」
ギンター・マイケル&千為子**

子どもたちをホームスクーリングによって育てることは大きな喜びであり、素晴らしい恵みですが、その過程においては、実際様々な困難や試練があると思います。しかし神様は時にかなった方法で私たちに知恵を与えてくださり、道を開いてくださいます。この時間は神様に賛美を捧げ、皆様からのQ & Aをお受けする時間とさせていただきたいと思います。私たちが知恵の心と判断する心を神様から頂き、愛と希望をもって、力強く前進することができるよう祈っています。

**4-5 ■ CSS (チアサポートスクール)
「ホームスクーリングは神様からの最強・最新の教育法！改革500日めのワクワクレポート！」
稲葉寛夫・堀井卓・伊澤聡一郎&恵美**

CSSは、全国のホームスクーリングムーブメントの推進を祈り、親と連携し、「魂の救い」、「キリストの弟子のこころを与える」、「伝道・世界宣教」の目的に向かって、ホームスクーラーの弟子訓練と勉強をサポートしています。「ホームスクーリングは神様が授けてくれた最強・最新の教育法」をモットーに、その果実の効果的な収穫を目指します。このセッションは、CSSチャレンジ編と改革1年を経ての最新情報です。まずは、500日の全体像。新体制での再スタート・通信制ファミランの拡充&バイブルミュージアム・ボランティアについて。1. CSSの目的・天国と伝道と勉強、2. 英数先行学習（英語多読&体系数学）、3. 理社の論述、4. ロードマップ作成とフォロー（ウィークリー・カウンセリング、三者面談、毎週の確認テストと定期テスト）、5. CSSコース紹介（通学制&通信制）。是非、ご参加ください！

4-6 ■ 「親も問われるホームスクール」
 ～主に従う確信、みことばの訓練～
 山川 高平&久子

2011年から始まったチャーチ & ホームスクールは今年で6年。神様からの訓練を頂きながらあわれみによりここまでできました。ホームスクールをする中、私たちが教えられていることは、子どももちろんですが、親もまた訓練されなければならないことです。主の訓戒を受け取り、みことばにより訓練されて成長するその喜びを分かち合えればと思います。

4-7 ■ 「虹って何色か知ってますか？」
 衣笠 健三&葉子

なんと12年ぶりの分科会！その間に子どもは5人から7人に増え、それぞれ23歳、20歳、18歳、16歳、13歳、9歳、7歳に。ホームスクール15年間の歩みの中で、妻の燃え尽き、夫は育休からの辞職など、苦しみの中を通らされ、そこからの家族の回復を通して、それにまさる圧倒的な主の恵みを経験しました。主の憐れみで今も家族9人楽しくホームスクーリングを続けています！“親もイエスさまからHSされている” “親も子もそれぞれの人生にすばらしい主のご計画がある” “本当に好きなことを見つける” 等々、日々教えられていることを分かち合います！

【分科会 5】

5-1 ■ 「子どもたちに、もっと多く、より良いものを期待する」

Expect More & Better Of Them
 グレッグ・ハリス

私たち親が自分の子どもたちに対して持つことのできる否定的な期待と建設的な期待の力について明らかにし、私たちの悪い習慣や態度から抜け出す方法を学びます。

In this session we will expose the power of the negative as well as the positive expectations that we parents can have toward our own children and how to break out of our own bad habits and attitudes.

5-2 ■ 「ADHD、学習障害の最新の研究結果を、ホームスクーリングに生かす方法」

The latest reserch on ADHD, Learning Disabilities and how this will affect your

homeschooling

ジョイス・イノウエ

箴言 11:14 で神は次のように言われました。「指導がないことによって民は倒れ、多くの助言者によって救いを得る」。この分科会では、ADHD や学習障害、高機能自閉症に関する最新調査を分かち合い、どのような年間計画を立てればいいのか、また子どもを助けるために親が知っておくべきこと、さらに調査結果をどのようにホームスクーリングに生かしていくかをお話しします。お子さんに障害が無い場合でも、そのような方々を助けるミニストーリーに携わるように、神さまは皆さんを招いておられるかもしれません。イエスさまの愛をもって彼らを助けていくために、今回の講演内容を知っておくことは益となるでしょう。この分科会で、皆さんの人生を変える重要な情報を得てください。

God's says in Proverbs 11:14a, "Where there is no guidance the people fall. But in abundance of counselors there is victory." This workshop will share the latest research on ADHD, Learning Disabilities and high functioning autism, how you can be helped throughout the year, what you need to know to help your children and how this will affect your homeschooling teaching. If your children do not have challenges, God may be inviting you in a ministry for those God alerts you to, and you know can benefit as an outreach of Jesus' s love for them. This workshop will have vital information that can change your lives.

5-3 ■ 「神が用いる母」

The Mom God Uses
 ジャネット・マクタガート

ホームスクールをするという決断は容易ではありません。私にはできない！これがよく最初に出る反応です。自分にできるか疑っていた私が、どのように幼稚園から高校まで4人の子どもをホームスクールで育てる母となったか、詳しくお話しします。実際的な例を上げて、学んできたことをお分かちします。

The decision to homeschool is not an easy one. "I could never do that!" is often our first response to the idea. In this workshop the speaker will recount how she began as a doubter and became the mother of four

children, all of whom were home-schooled from Kindergarten through High-school graduation. With practical illustrations she will share some of the lessons she learned along the way.

5-4 ■ 「家族でできる文書配布伝道」

田村 正幸

「全世界に出て行き、すべての造られた者に、福音を述べ伝えなさい。」これが、クリスチャンとして生きる者に与えられた、主の命令です。ホームスクールをして子どもを育てる目的がここにあります。あなたのホームスクールのカリキュラムに「伝道」という科目を入れてほしいのです。それは、子どもの成長に大きく役立つ主の教育カリキュラムです。その例として伊勢崎キリスト集会で展開する「東京路傍伝道」について紹介します。また、ホームスクールの教育教材についても「フェリーチェ玉村国際小学校」の取り組みを交えて紹介します。

5-5 ■ 「ホームスクール、次のステージに」

堀井 卓&ユリ

長男 22 歳、次男 20 歳になりホームスクール 2 人卒業、残り 3 人。と考えていたのですが…。先日、稲葉さんの話を聞いてそうでないことが分かりました。(チア・ニュースレター 166 号、「もう大人なので、本人と神様に任せます」は聖書的?) 年齢を重ねるごとに、一日の過ごし方、善悪の判断、進路、仕事、結婚など子どもたちに決断させなければならぬことも増えてきます。しかし、何歳になっても、私たちが親であることには変わりありません。

20 代の時に私たちにできることは何か、長男、次男とも話し、またメールなどで連絡を取り合い、御言葉から何が正しいか、何をすべきかを判断し、祈り御心を求めることを共に学んでいます。

長女は 16 歳になり、進路、仕事などを祈り始めていますが「毎日の祈り、聖書、家庭礼拝、お手伝い、勉強などひとつひとつ勤勉に、誠実にしていくときに、次の道が開かれてくるよ。神の国とその義を一番に。」と娘とも話しています。そして、三男 9 歳、四男 6 歳とは、できるだけ多くの時間を過ごすようにしています。朝、一緒に聖書を読み、祈り、お手伝いをする。夜は寝る前に歯磨きとお祈り。先日、休みの日には、三男、四男と駐輪場の改装工事。レンガを壊し、土を掘り起こし、特に切株を抜くのに大苦戦。子どもたちがイエス様の弟子として成長していく、そして共に神様のために働くことができる。ホームスクール

を通して、私たち夫婦も沢山のことを教えられ、神様の祝福と恵みを受けています。

5-6 ■ ～つばめ便り～

「桐山家のホームスクール近況アップデート & 13 年のホームスクールを通して最近特に教えられている事」

桐山 壘&明日美

現在ホームスクール 13 年目の桐山家。完全に体育会系の我が家はバレエ(長女)にサッカー(長男・次男)に、忙しく飛び回る上の子もたちとペースの違う下の子もたち(4歳&2歳)との狭間で息切れしそうな日々を送っています。分科会のお話をいただいた時には正直「こんな我が家に何が話せる?」と思ってしまいましたが、その後主人と頂いた恵みを数えてみると出てくる出てくる…!!今回はそんな我が家が頂いた恵みの中から、最近特に教えられているいくつかのことを感謝と共にお分かちしたいと思っています。(・子どもたちを地の塩、世の光として育てる-社会でもインパクトを与えるホームスクーラー、・年齢差のある子どもたちを同時にホームスクールするには?・ライフマネジメントの大切さ・夫婦の関係>子どもとの関係・安息の大切さ・子どもたちのモチベーションを保つには? etc.)

5-7 ■ 「大事なことは何か？」

正しい選択はいつも聖書にあった!

南雲 信幸&恵理子

恵理子は独身時代にチア・スタッフに導かれ、信幸は結婚を前提としたお付き合いの中で、ホームスクーリングという神の教えを知りました。聖書は私たちに、人任せではなく親自身が責任を持って子どもに教え込むことを命じています。それは主が私たちを祝福する為に与える、唯一の方法です。ホームスクーリングに導かれた我が家の取り組みを振り返り、何かお役に立つことを見付けていただけたら嬉しいです。